

受益者の皆様へ

三井住友アセットマネジメント株式会社

**SMBC・日興ニューワールド株式ファンド(為替ヘッジなし)の下落について**  
**(基準価額の変動要因についてのお知らせ)**

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成 22 年 2 月 8 日、表題ファンドの基準価額が前日比 5%以上下落しました。以下に、ファンド状況と基準価額の下落要因のご報告をいたします。

(1) 基準価額前日比 5%以上下落ファンド名とその状況(平成 22 年 2 月 8 日現在)

| ファンド名                         | 基準価額 (円) | 前日比 (円) | 下落率 (%) |
|-------------------------------|----------|---------|---------|
| SMBC・日興ニューワールド株式ファンド(為替ヘッジなし) | 9,112    | -508    | -5.28%  |

(2) 基準価額の変動要因について

SMBC・日興ニューワールド株式ファンド(為替ヘッジなし)は、ケイマン籍外国投資信託「ニューワールド・エクイティ・ファンド(JPY)」を通じて、世界各国の株式に投資を行っております。ニューワールド・エクイティ・ファンド(JPY)は外国籍の投資信託のため、同投資信託の2月5日の基準価額が、2月8日のSMBC・日興ニューワールド株式ファンド(為替ヘッジなし)の基準価額に反映されます。また、外貨建て資産の円換算には、ルクセンブルグ時間2月5日10:00時点の為替レートを使用しております。

上記の算出基準のもと、株式要因、為替要因ともに基準価額にマイナスの影響を与えた結果、SMBC・日興ニューワールド株式ファンド(為替ヘッジなし)の基準価額は - 5.28%となりました。

以下にバンク・プリヴェ・エドモン・ドゥ・ロスチャイルド・ヨーロッパからの見解をご報告申し上げます。

< 市場概況 >

(株式市場)

2月4日(木)、5日(金)の世界の主要株式市場は、2日間で大きく下落しました。ギリシアやスペイン、ポルトガルといった南欧諸国の財政危機問題や4日に発表された米国の新規失業保険申請件数が48万件と7週間ぶりの高水準となったことで世界景気の回復が鈍化するとの懸念が台頭しました。また、こうした景気鈍化懸念に加え、米ドルが円を除く主要通貨に対して上昇し、金や銅の代替通貨としての魅力が薄れたことな

この資料は、三井住友アセットマネジメント株式会社で作成したものです。(社)投資信託協会規則に基づき制定した弊社社内ルールに従い、受益者の方に「ファンドの基準価額に重大な影響を与えた内容の開示」を行う受益者様用資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。この資料に基づいて取られた投資行動の結果については、弊社は責任を負いかねますので、あらかじめご承知ください。この資料の内容・コメントは、作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。投資信託は、クローズド期間、国内外の休祭日の取扱い等により、換金等が出来ないことがありますので、投資信託説明書(交付目論見書)の記載にご注意ください。この資料は、弊社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者許諾者に帰属します。この資料に市場環境、運用・分配金実績、運用方針等が示される場合、それらは本ファンドの資料作成時点若しくはそれ以前に属するものであり、将来の状況・成果等を保証するものではありません。分配金は金額が変わる、又は分配金が支払われない場合もあり、将来に關し述べられた運用方針も変更される事があります。

どから商品市況、並びに関連株式が下落しました。

(為替市場)

為替市場は、南欧諸国の財政危機問題でユーロが大きく下落する一方、世界景気の減速懸念で投資家のリスク回避姿勢が強まったことによりドルや円のキャリー取引(低金利の米ドル、円を売って、高金利通貨を買う取引)を巻き戻す動きが見られました。円はほぼ全面高となりました。

< 市場見通し >

(株式市場)

ギリシアやスペイン、ポルトガルなど南欧諸国だけでなく、米国や英国も財政赤字は高水準にあり、当面株式市場にとって重石となることが予想されます。もっとも、各国財政の不安定な状況は「金」にとっては支援材料です。新興国株式は前述の要因に加え、1月中旬の中国における預金準備率引き上げ以来、更なる金融引締め懸念から不安定な状態が続いていますが、金融引締めは持続的な経済成長にとって必要な措置で、新興国成長の恩恵を受ける素材やエネルギー関連株式は引き続き魅力的な投資対象であると思われます。現在の短期的な調整はこうしたセクターに属する優良企業の株式を購入する好機と考えております。

(為替市場)

外国為替市場は、南欧諸国の財政赤字問題が足枷となりユーロは引き続き米ドルや円に対して下落基調で推移することが見込まれます。南欧諸国のこうした状況に対して欧州連合が何らかの支援を行うのが今後注目されます。財政赤字の問題が継続する限り、投資家のリスク回避姿勢が続き、米ドルや円キャリー取引巻き戻しの動きが継続することが予想されます。

以上